

てる」と、冗談を言いました。ほかのだれも、そんなことは考えもしないでしょう。キャサリンは、周りの称賛の声とは裏腹に、自らの功績に関してはいつも謙虚でした。キャサリンは言います。「自分の仕事をしただけ」と。

現在もキャサリンは、忙しい日々を送っています。家族と時間を過ごしたり、旅行やブリッジ、スポーツ観戦をして楽しんでいます。

映画『ドリーム』（原題 *Hidden Figures*）は、キャサリンと、同僚のドロシー・ヴォーンとメアリー・ジャクソンの物語を描いています。原作は、マーゴット・リー・シェタリーが著した同じタイトルの本で、宇宙開発戦争でのアメリカの勝利の裏で、NASAでキャサリンたちが果たした貢献がどのようなものであったか語られています。



キャサリンは今も、学生たちに自分の仕事の話をして、STEMのキャリアの道に進むことの楽しさを伝えていきます。キャサリンは学生に言います。「わたしたちの周りにはいつもSTEMがあります。世間では見落とされ、忘れられてしまうものもありますが、科学と工学と技術はいつもそこにあるのです。そしてなにより、数学はつねに、かならず、そこにあります」

ある日、今でも物を数えているかを尋ねられたキャサリンは、こう答えました。「ええ、もちろん。それから、物はなんでも並行でなくてはならないの。壁にかかっている絵が傾いていたら、まっすぐにしないと気が済まない。なんでも順序立っていなくては」

また、2017年にキャサリンは、ハンプトン大学の卒業式で学生たちにこうアドバイスしました。「あなたが取り組んでいること、それが何であれ最善を尽くしてください。最善をね。ただし、それを楽しむこと。人生を楽しんで。目の前を過ぎていくこと、そのひとつひとつを見逃さないでください」。このキャサ

これって、知ってた？

えいが映画『ドリーム』はアカデミー賞3部門にノミネートされました。